

「本部・支部 広報担当者会議」を継続開催しています！

本部と支部の広報渉外部担当者は5月17日(日)からテレビ会議を開催して、情報の提供と共有を図っています。5月25日に全国に発令されていた「緊急事態宣言」が解除されましたが、今も首都圏を中心に新型コロナの感染が続いています。

広報渉外部は組織の「目と耳」の役割を担っています。このような時こそ、会員の皆さんに全麵協の状況を早く伝えるために、テレビ会議で打ち合わせを重ねています！



会議開催：①5月17日(日) ②5月24日(日) ③5月31日(日) ④6月13日(土)
⑤6月21日(日) ⑥6月28日(日) 会議時間：1時間30分～2時間
(※ ほぼ毎週、日曜日の午後7時から「テレビ会議」を実施しています。)

広報渉外担当者(敬称略)

本部・支部	氏名	役職	所属団体
本部	谷端淳一郎	広報渉外部長	手打ちそば教室 赤松塾
本部	砂野 信	広報渉外副部長	NPO フードラボ蕎麦打ち部
北海道支部	塚越 智	広報渉外部長	いしかり手打ちそば同好会
東日本支部	市川宗信	事務局次長	栃木のうまい蕎麦を食べる会
首都圏支部	齋藤富士雄	幹事(広報・催事)	江戸流手打ち蕎麦 鶴の会
中日本支部	原 秀夫	事務局長	NPO 信州そばアカデミー
西日本支部	長谷川 勝	広報渉外担当	植田塾そば打ち倶楽部

広報活動の必要性について

「新型コロナウイルス」は感染力が非常に強く、感染を防ぐには「3密」を避けることが重要です。全麵協は、和食を代表する「そば」を通して人々の出会いと交流を進め、うるおいと活力ある地域づくりに貢献することを目指して活動しています。「そば道段位認定」を基幹事業としているため、全麵協の活動にはそば打ち技能の習得と普及が伴います。「3密」を避けながら「そば打ち」を普及させることは難しく、「段位認定会」などの活動を開始させるには、感染状況を冷静に判断しつつ慎重な協議と模索を続けなければなりません。全麵協は前例のない、先が見えない不安な状況の中にあり、私たち広報渉外部は会員の「目と耳」であることを自覚して、的確な情報を迅速に届けて少しでも不安が払拭できるように活動しようと話し合っています。(報告:広報渉外部 谷端)